

本科第 71 期学生 一般採用試験

国 語 試 験 問 題

(人文・社会科学専攻)

(注 意)

1. 解答用紙の注意事項を確認のうえ、例にならって氏名及び受験番号を解答用紙に必ず記入及びマークすること。

例 【氏名】 防大 渚 【受験番号】 神奈川人W1234 の場合

※氏名及び受験番号の記入について

| | 氏 | 名 |
|------|------|-----|
| フリガナ | ボウダイ | ナギサ |
| 漢 字 | 防大 | 渚 |

| | 志願地本名 | 専攻区分 | 番 号 |
|------|-------|------|-----------|
| 受験番号 | 神奈川 | 人 | W 1 2 3 4 |

※受験番号等のマークについて (女子受験者は、番号のWはマークしない。)

| 志願地本名 | 専攻区分 | | 番 号 | | | |
|---------|---------|---------|-----|---|---|---|
| | 札幌：(01) | 福島：(10) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 函館：(02) | 茨城：(11) | 人社 ● | ● | 1 | 1 | 1 |
| 旭川：(03) | 栃木：(12) | 性 別 | 2 | ● | 2 | 2 |
| 帯広：(04) | 群馬：(13) | 男 (1) | 3 | 3 | ● | 3 |
| 青森：(05) | 埼玉：(14) | 女 ● | 4 | 4 | 4 | ● |
| 岩手：(06) | 千葉：(15) | 男 (1) | 5 | 5 | 5 | 5 |
| 宮城：(07) | 東京：(16) | 女 ● | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 秋田：(08) | 神奈川：● | | 7 | 7 | 7 | 7 |
| 山形：(09) | 新潟：(18) | | 8 | 8 | 8 | 8 |
| | | | 9 | 9 | 9 | 9 |

2. 試験時間中は、すべて試験係官の指示に従うこと。

3. 解答方法は、択一式であり、設問ごとの指示に従い、解答用紙の解答欄にマークすること。

例えば、**1**と表示のある問題に対して(3)と解答する場合は、次の例のように**1**の解答欄の**3**にマークすること。

| 例 | 解 答 欄 | | | | |
|----------|-------|-----|---|-----|-----|
| 1 | (1) | (2) | ● | (4) | (5) |

156

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

この部分に掲載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に掲載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に掲載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に掲載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に掲載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

この部分に掲載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

(二〇二二年三月二十六日『朝日新聞』朝刊に掲載された佐伯啓思氏の文章による)

* (注) トルストイ——19世紀ロシア文学を代表する小説家・思想家。

1 2 3 本文中の空欄 a b c にあてはまる語句として、本文の論旨に照らして、最も適当なものを、それぞれ選択肢(1)～(5)の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

1 a

- (1) 実存的
- (2) 原初的
- (3) 人工的
- (4) 経済的
- (5) 政治的

2 b

- (1) 民族的
- (2) 宗教的
- (3) 言語的
- (4) 論理的
- (5) 神秘的

3 c

- (1) 近代的
- (2) 現代的
- (3) 西洋的
- (4) 西欧的
- (5) アジア的

4

日本をめぐる筆者の見方として、本文の論旨に照らして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 近代日本は英語教育の充実などに注力する一方、自国の言葉や文化は蔑ろにして、その「精神的な風土」を喪失した。
- (2) 第二次大戦後の日本は、自らの安全と平和を米国の軍事体制に依存して確保するとともに、米国の歴史観や世界秩序観を信奉してきた。
- (3) 西洋的価値観を共有しない現在の中国は、中華帝国の再来を図った膨張路線をとっている。ロシアのウクライナ侵略は、アジア地域における中国の膨張路線を勢いづかせることになるため、日本にとっても無縁ではない。
- (4) プーチンによるウクライナ侵略は国際法と人道に悖る暴挙であり、異なる文明間のはざままで前線に位置する日本としてはこうした行為を許容するわけにはいかない。
- (5) 日本はアジアの一員であるから、むき出しの「力」が作用するようになった今日にあつては、ユーラシアの中央部と西側との間で文明の衝突が起きた時には、アジアの「精神的な風土」を守るために命がけでも自衛する覚悟が必要である。

5

文化、文明、歴史に関する筆者の見方として、本文の論旨に照らして、最も不適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) シュベングラーは、アメリカ文明とソ連社会主義という二つの近代文明の観念が、歴史的に構築された民族の営みとしてのヨーロッパ「文化」には反するものであるとして、ヨーロッパは自らが創出した近代文明によって没落へ向かう運命にあると論じた。
- (2) アメリカ文明が個人の諸権利、自由やデモクラシー、法の支配、市場競争などの普遍的価値を掲げ、その実現を米国の使命と考えてきたのはたしかだが、実際上はそれをつねにすべての国に強制してきたわけではない。
- (3) ロシア革命後、旧ロシア帝国の知識人のなかには、ソ連社会主義の文明に与せず、ヨーロッパに亡命する者もいた。しかしそうした亡命知識人は、ヨーロッパに同化したわけではなく、自らが何者であるかを問うなかで「ユーラシア主義」が台頭した。
- (4) アメリカ文明はソ連社会主義との冷戦に勝利を収め、冷戦後の世界秩序の中核となるはずであった。しかしいまや米国中心のグローバリズムが世界で受け入れられているとは言えない。
- (5) 権勢をきわめたナポレオンはロシアにまで遠征したものの、「冬將軍」に直面して敗北した。この歴史はトルストイが暗示したように、自然の力を前にしたとき、人間の自由意思や野望がいかに無力であることを示している。

6

ロシアのウクライナ侵略に関する筆者の見方として、本文の論旨に照らして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 冷戦時代にウクライナはソ連の一部であったことから、ロシアではウクライナを自国の一部と捉える見方が支配的となった。他方で、ウクライナでも長年のソ連支配のもとでアイデンティティーのロシア化が進行したため、ロシアの侵略を許す結果となった。
- (2) ロシアのウクライナ侵略は、国家の合理的行動としては到底理解できず、指導者としてのプーチンが狂気ないし病気に陥ったことに起因したものと捉えるほかない。
- (3) ロシアは冷戦後に拡大を続けたNATOに国境を接するウクライナが接近の動きを見せたことに軍事上の脅威認識を強めていた。そのため、プーチンがウクライナのNATO加盟を阻止すべく軍事行動を命じた。
- (4) 冷戦後のロシアではアメリカとの近代文明の戦いに敗れたという挫折感のなか、「ロシア的価値」を求める心情が出てきた。その一角を構成するはずのウクライナによるヨーロッパ接近をロシアは裏切りと捉えたことが、今回の暴挙の背景にある。
- (5) 西ヨーロッパとロシアの「精神的な風土」は大きく異なり、プーチンはリベラルなデモクラシーや個人の権利など、西ヨーロッパの価値観がロシアに流入して「ロシア的価値」が否定されることを恐れていた。そこで西ヨーロッパへ近づこうとした隣国を攻撃した。

759

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。なお、設問の都合上、本文を一部改変したところがある。

この部分に掲載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に掲載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に掲載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

この部分に掲載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

この部分に掲載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

この部分に掲載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

この部分に掲載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に掲載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に掲載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に掲載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に掲載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

（辰井聡子氏の「平らな鏡で世界を見れば①」書斎の窓六七〇号、同「平らな鏡で世界を見れば②」書斎の窓六七一号による）

*（注）ヘーゲル——ドイツの哲学者。

マルクス——プロイセン王国出身の哲学者。

エマニュエル・トッド——フランスの歴史人口学者。

決定論——人間の意志、行為など普通自由だと考えられているものも、実はすべて何らかの原因によつてあらかじめ決められているという考え。

ドグマ——独断的な説。

アナール学派——現代フランスの歴史学の主流をなす学派。

ヴェーバー——ドイツの社会学者。

ピーター・ラスレット——イギリスの歴史家。

アラン・マクファールン——イギリスの歴史人類学者。

アングロ・サクソン諸国——英語を国語・公用語とするイギリス、アメリカ、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドなどをこのように呼ぶ。

7

文中の空欄 A ↓ B ↓ C の順にあてはまる語の組み合わせとして、本文の論旨に照らして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) A 大家族共同体による農業経営 B 個人主義的な核家族システムの普及 C 資本主義経済の勃興
- (2) A 大家族共同体による農業経営 B 資本主義経済の勃興 C 個人主義的な核家族システムの普及
- (3) A 個人主義的な核家族システムの普及 B 大家族共同体による農業経営 C 資本主義経済の勃興
- (4) A 個人主義的な核家族システムの普及 B 資本主義経済の勃興 C 大家族共同体による農業経営
- (5) A 資本主義経済の勃興 B 個人主義的な核家族システムの普及 C 大家族共同体による農業経営
- (6) A 資本主義経済の勃興 B 大家族共同体による農業経営 C 個人主義的な核家族システムの普及

8

傍線部（よい知らせがある）の内容として、本文の論旨に照らして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) トッドによれば、経済発展は近代化の要因ではない。
- (2) 直系家族という形態こそが先進性を備えた家族システムである。
- (3) 現代のわが国における家族形態も核家族化が進んでいる。
- (4) 核家族は前近代から続く家族形態であって、イングランド内部における革新の結果として得られたものではない。

9

本文の内容に関する説明として、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) トッドは、資本主義経済の発展が家族形態を共同体的なものから個人主義的なものへと変容させたという既存の説を覆し、家族形態こそが政治的システムを規定する要因となったとする。共同体的な家族システムが革新的に拡大する流れに取り残されたイングランドの前近代的な核家族システムは、しかし、他の世界に先駆けて近代化を経験した。
- (2) 高い教育水準を有する国家は直系家族のシステムを採用することで近代化を獲得した。しかし、その経済と家族の両方にある平等主義的構造ゆえに、経済格差に対する耐性は低いため、有権者は保護主義的な経済行動を好み、そのような政府に対する支持が継続された。結果として、こうした国家では政権交代が起こりにくくなった。
- (3) フランス的な核家族システムと外婚性共同体家族は、絶対的権威を持つ父の下で兄弟間の相続規則が平等だという点で共通しているが、父親が死亡することで外婚性共同体家族が崩壊し、党と政治警察がその権威にとつて代わることで近代化が進んだ共産主義国家とは異なり、自由を尊ぶフランスでは、相続規則と相まった近代的価値観が形成された。
- (4) 家族システムが社会の集合的心性を左右するという命題が真であるとすると、人の価値観は生まれ育った家族システムによって決まることとなるため、非決定論的な考え方であると批判されている。しかし、集合的心性の変化をもたらした要因を特定することが可能になれば、社会科学は医学における「遺伝情報」を手に入れることとなる。

10
13

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。なお、設問の都合上、本文を一部改変したところがある。

この部分に掲載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に掲載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に掲載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に掲載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

この部分に掲載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

この部分に掲載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

この部分に掲載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

(磯前順一氏の『喪失とノスタルジア』による)

*〔注〕 エルネスト・ルナン——十九世紀フランスの宗教史家、思想家。

ヴァルター・ベンヤミン——ドイツの文芸批評家、思想家。翻訳行為や複製技術の本質を論じた。

ハイデガー——ドイツの哲学者。人間存在における認識の問題について論じた。

テクスト——主に言葉で織り成された、書かれたもの。

山田太一——脚本家、小説家。『異人たちとの夏』は、山田原作、大林宣彦監督の一九八八年の映画。

ナラティブ——語り、語ること。

ミシェル・フーコー——フランスの思想家、哲学者。近代的な制度の背後にある歴史性を論じた。

ジャック・デリダ——フランスの哲学者。過去の哲学思想を批判的に対象化している。

プラトンのコーラ——決してその感覚、意味化できない何か、確かにそこに存在し、息づいて

いる「場」のこと。

ヘゲモニー——合意による支配、指導、そしてそれを維持すること。

村上龍——日本の小説家、映画監督。一九七〇年代以降、暴力や快楽をめぐる問題を多様な面から

描き出している。

10

文中の空欄 A B にそれぞれ入る語の組み合わせとして、本文の

論旨に照らして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- | | | |
|-----|-------|-------|
| (1) | A 一回性 | B 触媒的 |
| (2) | A 限界性 | B 永続的 |
| (3) | A 同一性 | B 倫理的 |
| (4) | A 反復性 | B 想起的 |
| (5) | A 継承性 | B 対話的 |

11

本文中の〈記憶するという行為〉に関する説明として、本文の論旨に照らして、最も不適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 記憶するという行為とは、過去を差異化しつつ、それを新たな時間の内に置き換えることだ。
- (2) 記憶するという行為とは、過去に憑依されることに抗して、未来へと志向するものである。
- (3) 記憶するという行為とは、過去を差異化し隠蔽することで、忘却⇕過去からの解放を生む。
- (4) 記憶するという行為とは、過去を表象化することでその意味づけを変えてゆくものである。
- (5) 記憶するという行為とは、トラウマを生む過去の声に向かい合い、それを形にするものだ。

本文中の〈非共約性〉に関する説明として、本文の論旨に照らして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 非共約性は、他者を理解することが絶対に不可能であるということだが、そこでは他者への理解が全く不要になることによって、他者との新たな繋がり可能性が生まれる。
- (2) 非共約性を抱えているがゆえに人間は他者と関わり、生きる力を与えることが可能となるが、そこでは反復を恐れずに、自らにつきまとう過去を直視し表象する必要がある。
- (3) 他者の体験を理解するために自分の過去を消去し、他者に対して自分の存在を無防備に「明け渡す」ことこそが、非共約性がもたらす未来志向的な生の可能性の本質である。
- (4) 非共約性とは、決定的な差異を抱えた自己と他者の間に発生するものであり、そこで自己は、他者が抱えている過去に憑依されて、自分の過去をめぐり束縛から解放される。
- (5) 人間は他者の体験を共有できない非共約性を抱えているが、「純粹言語」の場では、そのような自己と他者が完全に同一化して、差異をめぐり様々な決断が不要なものとなる。

本文の内容に関する説明として、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 喪という行為は、過去と決別し未来に志向するための能動的行為であって、歴史的制約に満ちた過去はそこで表象化されることで不変の固定された意味となり、主体から切り離される。
- (2) 翻訳は、本質的に原作の起源へと志向するものであり、その翻訳行為の中で起きるズレを微細に消去し、過去と現在を同一化する行為であるとヴァルター・ベンヤミンは指摘している。
- (3) 表現行為とは、過去と現在生きている空間が全く異なる読者が共感し得るような身体性を、テクストのなかの確固たる実体として表現者の側から主体的に贈与する解毒的な行為である。
- (4) 亡霊論は、歴史を決して全体化することなくその葛藤と不均質性を対象化する視点を持つが、それは非実体的な「幽霊」としてのテクストが生む可能性を照らし出す有効な視点となる。
- (5) 映画『異人たちとの夏』での身体性の欠落した言表行為は、村上龍の小説における性・暴力衝動に憑かれた身体感覚の描写と同じく、個人の衝動が社会と軋轢を起す様を描出している。

次の文章は、宮崎県都城に住む速水晴文という人物から送られてきた「恋歌論」という文章に、東京在住の筆者佐佐木信綱が明治三十一年に応答したものである。文章を読んで以下の設問に答えよ。

この部分に掲載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に掲載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

(佐佐木信綱の「恋歌につきて」による)

*〔注〕『歌のしをり』——歌論。佐佐木信綱筆。明治三十五年刊。

ふりはへ——わざわざ。

かつがつ——とりあえず。

あげつらひ——論。

うらうへ——あべこべ、転じて矛盾。

たづき——手段、方便。

鈴屋翁——本居宣長（一七三〇〜一八〇一）。国学者・歌人。

『石上私淑言』——歌論。一七六三年成立。

14

傍線部(1)から(4)をそれぞれ漢字に置きなおした組み合わせとして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) (1) 礼 (2) 類 (3) 互 (4) 賜
- (2) (1) 礼 (2) 障 (3) 違 (4) 与
- (3) (1) 尊 (2) 触 (3) 互 (4) 与
- (4) (1) 尊 (2) 障 (3) 誤 (4) 預
- (5) (1) 嫌 (2) 触 (3) 違 (4) 預

15

空欄 A から D に入る言葉の組み合わせとして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) A こひ B 心 C 志 D 情
- (2) A あはれ B 教 C 旨 D 情
- (3) A こひ B 教 C 道 D 道
- (4) A あはれ B 心 C 道 D 集
- (5) A ところ B 趣 C 旨 D 集

16

波線部「あまりにかたよりの御考」と筆者が速水の意見を批判する理由についての説明として、本文の論旨に照らして、最も不適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 文学と倫理とは、人間の精神的活動の中でも別領域を担当するものであるから。
- (2) 恋は人間の情感を詠む和歌の素材として、最も重要なものであるから。
- (3) 和歌における恋には、男女のみならず親子・兄弟・夫婦間の情愛も含まれるから。
- (4) 昔の恋歌の情感を教えることが初心の若者には弊害があると考えられるのは全く同意できないから。
- (5) 恋の感情は人間誰しも持っているもので、それが文学に表現されることそのものを悪とは考えられないから。

17

二重波線部「む」と同じ意味の「む」を含む一文を、次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 夕には朝あらむことを思ひ、朝には夕べあらむことを思ひて・・・
- (2) かさねてねんごろに修せむことを期す。
- (3) 「いましばし、けふは心しづかに」など言はむは・・・
- (4) 子といふものなくてありなむ。
- (5) 花を見てこそ帰り給はめ。

次のAからDは、平安時代に源為憲が撰した俗諺集（いわゆることわざ集）『世俗諺文』の一節である。これを読んで、後の設問に答えよ。ただし、設問の都合上、返り点と送り仮名を省略し、本文を一部改変したところがある。

A 説苑云、孔子曰、良莠苦於口、而利於病。

忠言逆於耳、而利於行。故武王[a]々々而

[b]、紂[c]々々而[d]。

B 史記云、門下有毛遂者、前自賛於平原

君曰、以遂備員而行。平原君曰、夫賢士

之處世也、譬若錐之處囊中。

C 論語云、子曰、後生可畏也。焉知來者

不如今也。注云、後生謂年少也。

D 孫卿子云、學不可以已。[e]取之[f]而

[g]於[h]氷生於水而寒於水。

*（注） 説苑——前漢末の劉向撰の書。

武王——周の武王。殷の紂王を倒して天下を統一した。聖王とされる。

紂——殷の紂王。暴君として有名。

毛遂——戦国時代の政治家。平原君の食客（客分としてかえられた人）の一人であった。

平原君——戦国時代、趙の公子。戦国四君の一人に数えられる。

孫卿子——『荀子』（もと『孫卿新書』といった）のこと。戦国時代の荀況撰の思想書。

18

Aの空欄[a]から[d]には「諤(物言いが率直なさま)」「已(やむ、終わる)」「嘿(口を閉じて話さないさま)」「昌(さかえる)」のいずれかが入る。それぞれ入る語の組み合わせとして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- | | | | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (1) | a | 諤 | b | 已 | c | 嘿 | d | 昌 |
| (2) | a | 嘿 | b | 昌 | c | 諤 | d | 已 |
| (3) | a | 嘿 | b | 已 | c | 諤 | d | 昌 |
| (4) | a | 諤 | b | 昌 | c | 嘿 | d | 已 |

19

以下は、Bの本文の前提を説明したものである。

趙が秦に都を包囲されたとき、平原君を使者として楚に救援を求めるところにした。平原君は、自らの門下から二十人を同行させようとしたが、十九人しか選ぶことができなかった。このとき名乗り出たのが毛遂であった。毛遂は平原君の食客となつて三年になるが、特に目立った功績はなかった。

以上をふまえて、Bの傍線部「若錐之处囊中」の意味することとして最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 守備が貧弱であれば攻撃にも耐えることができない。
- (2) 愚者に囲まれてしまうと、賢者であっても凶悪化してしまう。
- (3) 賢者は、隠そうとしても、その才能がもれでてしまう。
- (4) 攻撃力を磨くことによって、簡単に相手を打ち破ることが可能となる。
- (5) 賢者ほど才能を隠すものであるが、周りが放っておかない。

20

Cの傍線部「焉知来者不如今也」の意味として最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) どうして、これからの人間が、今のままではないことを知っているのか。
- (2) どうして、若い人たちが今の年老いた人たちに及ばないことがあるのか。
- (3) これから来るはずの人が、来ないということをどうして今知っているのか。

- (4) どうして、知人が来た時に、今ではないと断ることがあるだろうか。
- (5) 年少の者が今、活躍できないということがあるだろうか。

21

Dの空欄④から⑧にそれぞれ入る語の組み合わせとして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| (5) | (4) | (3) | (2) | (1) |
| e | e | e | e | e |
| 藍 | 青 | 藍 | 藍 | 青 |
| f | f | f | f | f |
| 青 | 藍 | 藍 | 青 | 藍 |
| g | g | g | g | g |
| 青 | 青 | 青 | 藍 | 藍 |
| h | h | h | h | h |
| 藍 | 藍 | 青 | 青 | 青 |

